

論述ブースト No.10

グローバルヘルスを論じる ― 感染症・医療格差・国際協力を3軸で整理する

導入文

「グローバルヘルスに関心がある」という志望動機は医学部面接でよく聞かれるが、「なぜ医師がグローバルヘルスに関わるのか」「具体的に何が課題か」を論証できる生徒は少ない。感染症・医療格差・国際協力の3軸を持つことで、医師志望者としての深みある論証が書ける。

講義概要

グローバルヘルスを「感染症の国際的拡大」「低所得国の医療格差」「国際機関・NGOによる協力体制」の3軸で体系化する。COVID-19・結核・マラリア・顧みられない熱帯病などの具体例、WHOの役割、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの概念まで整理し、医師の国際的役割を論証できる力を育てる。

授業目標：グローバルヘルス論述を「関心がある」から、感染症・格差・国際協力の3軸による論証へ変える。

対象者：高2～高3・浪人生。医学部・医療系の総合型選抜・推薦入試でグローバルヘルスの小論文・面接に備えたい生徒。

授業時間：授業90分+演習・質疑応答30分

到達目標：3軸でグローバルヘルスの論点を整理できる／UHCの意味を説明できる／医師として国際的に何ができるかを論証できる

授業構成 (90分) + 演習・質疑応答 (30分)

授業90分：1 導入：「関心がある」だけの答えと論証のある答えを比較 2 感染症軸：国際的拡大のメカニズムとCOVID-19・結核・マラリアの文脈 3 医療格差軸：低所得国の医療アクセスとUHCの概念 4 国際協力軸：WHO・NGO・二国間援助の役割と限界 5 医師の役割：臨床・研究・政策提言の3レベル 6 演習：小論文骨子を3軸で作成 7 まとめ：「なぜ医師がグローバルヘルスに関わるか」を論証

追加30分：「グローバルヘルスに医師としてどう貢献するか」を3軸で300字論述する演習と質疑応答を行う。

板書・スライド骨子：3軸の定義と具体例／UHCの概念と意義／医師の国際的役割の3レベル／論証骨子テンプレート

課題：「感染症のパンデミックに対して医師は国際的にどう関わるべきか」を感染症・格差・国際協力の3軸で300字で論じる。

備考：高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。